

## ～七飯町海外交流派遣研修を終えて～

町民代表 すぎむら 杉村 ももや 桃弥

はじめに、今回の海外派遣研修に参加させていただき、とても貴重な体験ができましたことに感謝申し上げます。参加したいと願っていたこの海外交流の夢が10年越しに叶うとは思ってもいなかったので、正直驚きながらも大変嬉しく思っています。学生の時以来英語からは遠ざかっていたため、今回の研修できちんと現地の方々と交流ができるのか多少不安な面もありましたが、国際交流員のクリスさんによるわかりやすく丁寧な英会話研修のおかげで徐々に英語を思い出すことができ、安心して研修に向かうことができました。

13時間に及ぶ成田ーボストン間のフライトの後、疲れを感じながら空港の到着ロビーを出ると、コンコードのホストファミリーの方や関係者の方々が横断幕を持ち、一同になって私達を出迎えてくれていました。ずっと長い間飛行機が到着するのを待っていてくれたと思うと、とても感激し、胸がいっぱいになりました。私はそこで初めてホストファミリーとしてお世話になるクラッツリー家のジョンさんに会いました。ジョンさんは笑顔で迎えてくださり、互いに自己紹介をしました。その際にジョンさんは私の拙い英語にも真剣に耳を傾けてくれ、のちに奥様のホーリーさんにもお会いし、出会って間もないのに親しい友人のように私を温かく迎えてくださり、本当にこの方々の家でお世話になることを嬉しく思い、とても安らかな気持ちになりました。



ホームステイ先での食事風景  
～ジョン・ホーリー夫妻と～

ジョンさんとホーリーさんは互いにお仕事をされていてとても忙しい毎日を送られていることを事前に交換したメールの内容を見て把握していたのですが、忙しいところを表には出さず、毎度の朝ごはんも限られた時間の中でちょっとずつアレンジを加えて、違ったメニューの食事を用意してくれました。クロワッサンとスクランブルエッグ、オートミールやベーコンとトースト、ブルーベリーやクリームチーズ入りのホットケーキなど、大変美味しかったです。

また、車で出かける時もコンコードの街並みを見ながら所々にある物や建物などの名前を声に出して教えてくれました。「かぼちゃ」「図書館」「教会」「橋」「ボート」「魔女」「銀行」「おばけ」「洋服屋」「蜘蛛」「私の事務所」「ジム」「私立高校」など。誠実な気持ちでコミュニケーションを取ろうとしてくれていると感じ、私ももっとコミュニケーションが取りたいと思い、疑問に思ったこと、聞きたいことなど徐々に遠慮せずに聞けるようになりました。私の話す英語が通じない時は携帯の翻訳機を使って互いに意見交換をしました。

ホストファミリーと一緒に過ごした日は、教会でジョンさんが聖歌隊として歌っている姿

を見て感動し、ボストン美術館にて世界各国の歴史的な展示物を拝見、その収容物の多さ、作品の美しさに圧倒されたこと、また殻付きのロブスターを食べさせてくれたことが大変印象に残り、思い出深い日となりました。

コンコードでの研修としてはじめにコンコード博物館を訪れた際には、1万年前に暮らしていた原住民の狩りの方法から19世紀の上位階級の人々の暮らし、また1775年に起こったコンコードの戦いに至った背景など、学芸員の方から直接詳しいお話を聞くことができました。また後日、実際にそのコンコードの戦いの場となったオールドノースブリッジに赴き、この場所でアメリカ独立のきっかけとなった歴史的な戦争が勃発したんだな、と過去に想いを馳せることができました。その後オールドノースブリッジ周辺に立つロビンズハウスにも訪れ、今では考えられないような黒人差別のお話などを伺うことができ、訪問団全員で差別問題について真摯に考えさせられました。

個人で研修させていただいた花関係の視察では、多方面から日本の花業界との違いについて学ぶことができました。まずアメリカの花のルートとしては仲卸業者が存在せずに花屋と市場が直接取引をしているということです。これは花の鮮度の面で消費者に花が届くまでの時間が短いのでとても良いことだなと思いました。日本の仲卸業者としてはこの鮮度の面で一つの課題があるからです。



コンコード町中心街にある花屋  
～ウィンストンフローリスト～

また、コンコードの街並みを見ながら気になっていたのが、花壇や庭先に菊の花が植えられていること。日本ではあまり馴染みのない光景だったので花屋さんに直接伺うと、菊の花はとてもポピュラーだということで、日本の菊のイメージでは仏花や葬儀関係に使われることが多いですが、アメリカでは花を使用する用途によって種類を制限するというのではなく、何にでも多種多様な花を使用して花束やアレンジメントを作っても問題ないと言うことを伺いました。バラなどもお悔やみの花として使用で

きると聞き大変驚きました。日本よりも花の使い道に制限がないことで消費率も高く、人々にとって花という存在が身近に感じられているようなそんな印象を強く受けました。

7日間によるコンコードでの研修の後、コンコードの町や人々たちとの大切な思い出を胸に、私たちはニューヨークへと向かいました。ニューヨークではロックフェラーセンターやタイムズスクエア、自由の女神やグラウンドゼロなど、有名な場所を巡ることができました。特に印象深いのは国連の場内ツアーで、各国からの素敵な寄贈物を見たり、地雷や原爆に関する展示を見て、改めて平和について考えさせられました。実際に使われているという会議場の中に入場することもでき、大変嬉しかったです。

アメリカへ出発する前には想像もできませんでしたが、私にとってこの研修はとても有意義なものとなりました。